

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	長い人生を送ってきた利用者様のくらしをグループホームで支援するためには、利用者様を深く理解することが欠かせない。 出身地、子供時代のこと、結婚生活、好きなことや趣味などの情報を収集し職員」の共有が必要。	・情報収集の内容を深めグループホームでの暮らしを充実させる。	・新規入所者様に対しては契約時にセンター方式のA-4、B-1、B-2、B-3シートをご家族様にお渡しし記入をお願いする。 又、現在入居者様に対しては各担当職員が中心となり、多職種を交えて情報収集を行う。	6ヶ月
2	20	コロナ禍で、ご家族様や地域資源との関わり合いが薄くなっている。	・利用者様の慣れ親しんだ場所へ行く。	・一度に大人数で行うのではなく、何かの記念日(お誕生日等)に合わせて家族様の協力も得ながら行いたい。 そのためには、感染対策を入念に計画し行う。	12ヶ月
3	11	グループホーム職員にとって必要不可欠の研修テーマは何点もあるが、研修参加が乏しい。 別法人のグループホームとの交流がない。	・職員の研修会参加を増やし支援に対するレベルアップを行う。 ・他事業所との交流を行い情報交換をする。	・オンライン形式の研修会を調べ参加を考える。 ・他事業所の管理者へアプローチをかけ情報収集を行う。 また職員の施設見学や意見交換が出来るようにしたい。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。